

2014年5月23日

メドピア株式会社

代表取締役社長 石見 陽

問合せ先： 取締役 山中 篤史 03-6805-0345

<http://medpeer.co.jp>

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

I. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

1. 基本的な考え方

当社が「MedPeer」サイトを中心として提供するサービスは医師より中立性、健全性の観点から信頼される事が基本的な成立要件であります。医師からの信頼を高める上で、運営母体の信用向上は欠かせない要件であるとともに、株主をはじめとして従業員、取引先、債権者、医療業界等の皆様の利益を重視した経営を行うことが当社の使命であると考えております。そのためには、当社事業が持続的な発展を果たすことが不可欠であり、経営の健全性及び透明性の向上を目的とするコーポレート・ガバナンスの強化は重要な経営課題であると認識し、積極的に取り組んでおります。

2. 資本構成

外国人株式保有比率	10%未満
-----------	-------

【大株主の状況】

氏名又は名称	所有株式数(株)	割合(%)
石見 陽	600,000	40.90
ジャフコ・スーパーV3 共有投資事業有限責任組合	300,000	20.45
BOZO 株式会社	125,000	8.52
島田 亨	120,000	8.18
山中 篤史	100,000	6.82
石見 奈津子	25,000	1.70
前田 徹也	20,000	1.36
佐藤 輝英	20,000	1.36
柯 王徳	20,000	1.36
小山内 久人	20,000	1.36
高石 官均	20,000	1.36

支配株主名	—
-------	---

親会社名	—
親会社の上場取引所	—

補足説明

—

3. 企業属性

上場予定市場区分	東京 マザーズ
決算期	9月
業種	サービス業
直前事業年度末における(連結)従業員数	100人未満
直前事業年度における(連結)売上高	100億円未満
直前事業年度末における連結子会社数	10社未満

4. 支配株主との取引を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針

—

5. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

該当事項はありません

II. 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

1. 機関構成・組織運営等に係る事項

組織形態	監査役会設置会社
------	----------

【取締役関係】

定款上の取締役の員数	7名
定款上の取締役の任期	2年
取締役会の議長	代表取締役社長
取締役の人数	4名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	1名

社外取締役のうち独立役員に指定されている人数	1名
------------------------	----

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
島田 亨	他の会社の出身者				○	○			○	

※1 会社との関係についての選択項目

- a.親会社の出身である
- b.他の関係会社出身である
- c.当該会社の大株主である
- d.他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e.他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f.当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g.当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h.本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i.その他

会社との関係(2)

氏名	独立役員	適合項目に関する補足説明	当社社外取締役に選任している理由
島田 亨	○	当社は、会社法第 427 条第 1 項の規定に基づき、同法第 423 条第 1 項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が規定する額を限度としております。	多くの企業にて取締役を経験しており、コーポレート・ガバナンスに関する高い意識と、豊富な経営経験を有しているため、当社の経営に対する様々な助言及び意見を頂戴できることから、当社より就任を要請致しました。 また、当社とは特別な利害関係はなく、一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから独立役員に指定しております。

【監査役関係】

監査役会設置の有無	設置している
定款上の監査役の員数	4名
監査役の人数	3名

監査役、会計監査人、内部監査部門の連携状況

監査役と内部監査責任者は、日常的な情報交換を行うとともに、社内の重要な会議に出席することによって情報の共有を図っております。また、監査役、内部監査責任者、会計監査人は定期的に意見交換等を行い、監査上の問題点の有無や課題等について適宜共有しており、相互の連携を強化する事で適性な監査が実施できる体制を整えております。

社外監査役の選任状況	選任している
社外監査役の人数	3名
社外監査役のうち独立役員に指定されている人数	3名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
龍湖康雄	他の会社の出身者									
葉山孝	公認会計士				○	○			○	
佐藤弘康	弁護士					○			○	

※1 会社との関係についての選択項目

- a.親会社の出身である
- b.他の関係会社出身である
- c.当該会社の大株主である
- d.他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e.他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f.当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g.当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h.本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i.その他

会社との関係(2)

氏名	独立	適合項目に関する補足説明	当社社外監査役に選任し

	役員		ている理由
龍湖康雄	○	—	様々な業界での職務経験と他の会社における経営の経験、および監査役の経験より当社の監査体制の強化に適任と考え、且つ一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから社外監査役に選任すると共に独立役員に指定しております。
葉山孝	○	当社は、会社法第 423 条第 1 項に関する責任について、定款第 36 条第 2 項の規定に基づき法令が規定する額を責任限度額とする責任限定契約を締結しております。	公認会計士として財務会計に関する専門知識と豊富な経験を有していることに加え、客観的・中立的立場にて経営監視が可能であり、且つ一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから社外監査役に選任すると共に独立役員に指定しております。
佐藤弘康	○	当社は、会社法第 423 条第 1 項に関する責任について、定款第 36 条第 2 項の規定に基づき法令が規定する額を責任限度額とする責任限定契約を締結しております。	弁護士として高度な専門的知識に基づき監査体制の強化に適任と考え、且つ一般株主と利益相反が生じるおそれがないことから社外監査役に選任すると共に独立役員に指定しております。

【独立役員関係】

独立役員の数	4 名
--------	-----

その他独立役員に関する事項

—

【インセンティブ関係】

取締役へのインセンティブ付与に関する施策の実施状況	ストックオプション制度の導入
---------------------------	----------------

該当項目に関する補足説明

当社は社内取締役、社外取締役及び従業員に対して、業績向上に対する貢献意欲や士気を高め、企業価値の向上を図るべく、ストックオプションを付与しております。

ストックオプションの付与対象者	社内取締役、社外取締役、従業員
-----------------	-----------------

該当項目に関する補足説明

当社は、業績向上へのインセンティブを高めると共に、優秀な人材を確保するため、ストックオプションを発行しております。

【取締役報酬関係】

開示状況	個別報酬の開示はしていない
------	---------------

該当項目に関する補足説明

報酬等の総額が1億円以上である者が存在しないため、報酬の個別開示は実施しておりません。取締役及び監査役の報酬は、それぞれ総額で開示しております。

報酬額又はその算定方法の決定方針の有無	あり
---------------------	----

報酬額又はその算定方法の決定方針の開示内容

取締役の報酬については、株主総会の決議による報酬限度額の範囲内で、業績、個々の貢献度を勘案し、取締役会から一任を受けた代表取締役社長が報酬額を決定しております。

【社外取締役(社外監査役)のサポート体制】

社外取締役に対しては、随時、管理部が経営情報の提供を行っております。また社外監査役へは常勤監査役より経営情報の提供を行っております。

2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項(現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要)

○取締役会

当社の取締役会は、取締役4名で構成されており、うち社外取締役が1名であります。意思決定機関としての透明性、公平性を確保し、当社の業務執行に対する監督機能及び監査機能を明確化するため、社外取締役1名を選任しております。また社外監査役3名も取締役会に出席しており、より広い視野にもとづいた経営意思決定と社外からの経営監視を可能とする体制の強化に努めております。

定例取締役会は原則として、毎月1回定期的に開催するほか、迅速かつ的確な意思決定を確保するため、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。

○監査役及び監査役会

当社は、監査役会設置会社であり、監査役会は社外監査役3名で構成され、うち1名が常勤監査役であります。監査役会は、毎月1回定期的に開催し、取締役会の意思決定の適法性について意見交換する等、コーポレート・ガバナンスの実効性を高めるよう努めております。

また、常勤監査役は、経営会議にも出席しており、意思決定プロセスの妥当性の検証を行っております。

○経営会議

当社の経営会議は、常勤取締役、執行役員で構成しており、原則として毎週1回定期的に開催しております。経営会議では、業務執行の方針、予算等の審議を行うとともに、全社又は各部署の重要課題、取締役会上程前の議案を審議しております。経営における情報、判断、決定、実行の共有化を図るとともに、経営の迅速性を図っております。

○会計監査人

当社は、有限責任監査法人トーマツと監査契約を締結し、独立の立場から会計監査を受けております。当社の会計監査業務を執行した公認会計士は、有限責任監査法人トーマツに所属する吉村孝郎、岡田雅史であります。継続監査年数については、全員7年以内であります。また当社の会計監査業務に係る補助者は、公認会計士3名、その他5名であります。

3. 現状のコーポレート・ガバナンス体制を選択している理由

当社は経営の機動性や透明性、客観性及び健全性の保持・向上を目的にコーポレート・ガバナンス強化を重要な経営課題であると認識し、適正な業務執行及び監査への対応できる体制の構築を図るために、社外取締役の選任と監査役会の設置による業務執行の監督・監査に重点を置いた、現状のコーポレート・ガバナンス体制を採用しております。

III. 株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み

	補足説明
株主総会招集通知	決算業務の早期化を図り、招集通知の早期発送に取り組む予定です。

の早期発送	
集中日を回避した 株主総会の設定	より多くの株主の皆様にご参加頂けるよう、開催日の設定に関しては集中日を避けるよう留意して取り組みます。

2. IRに関する活動状況

	補足説明	代表者自身による 説明の有無
個人投資家向けに 定期的説明会を開催	定期的な開催は予定しておりませんが、個人投資家向けIRイベントへの参加等を検討いたします。	あり
アナリスト・機関投資家向けに定期的 説明会を実施	年2回程度の開催を予定しております。	あり
IR 資料をホームページ掲載	当社ホームページのIRサイトに掲載する予定です。	
IR に関する部署(担当者)の設置	管理部にて IR を担当する予定です。	

3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況

	補足説明
ステークホルダー に対する情報提供 に係る方針等の策 定	当社は、株主様、お客様、従業員等のステークホルダーに対して、適時適切に情報を開示することが上場企業の責務であると認識しております。そのため、コーポレートサイト等を利用し、迅速・正確かつ公平な会社情報の開示を行ってまいります。

IV. 内部統制システム等に関する事項

1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

<p>当社は組織が小規模かつ簡素で、きわめて簡潔な業務執行体制を敷いています。内部統制においては、この主たる業務執行体制の運用の徹底に主眼を置いています。</p> <p>1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制</p> <p>① 取締役会は、「Mission」「Vision」「Our Values」及び各種規程に基づき、代表取締役社長がその精神を継続的に取締役及び社員に伝達することにより法令・定款及び社会規範を順守してまいります。</p> <p>② 取締役会は、コンプライアンスに係る各種規程を制定し、取締役及び使用人がコンプライア</p>

ンスに取り組むための体制を整備してまいります。

- ③ 代表取締役社長は、コンプライアンスに取り組むための全社横断組織としてリスク・マネジメント委員会を設置し、リスク・マネジメント管理体制の整備及び問題点の把握に努めてまいります。
- ④ 監査役は、取締役会への出席及び業務執行状況の調査等を通じて、取締役の職務執行を監査してまいります。
- ⑤ 内部監査担当部署は、各部署におけるコンプライアンスの状況を監査し、監査結果を定期的に代表取締役社長及び監査役に報告してまいります。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報は、「文書取扱規程」に従い、適切に記録し、保存するとともに、必要な関係者が閲覧できる体制といたします。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- ① リスク管理については、リスクの種類毎の担当部署にて、規程の制定、マニュアルの作成、研修等を行なうことを原則とし、組織横断的リスク状況の管理及び全社対応は、リスク・マネジメント委員会が行なうものといたします。
- ② 情報セキュリティ管理規程、個人情報取扱規程に基づき、機密情報の管理徹底と個人情報の適切な保護を行います。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行なわれることを確保するための体制

- ① 取締役会は中期経営計画及び年次計画を策定いたします。
- ② 取締役は、当該計画達成のために、自らが管掌する部門において具体的計画及び効率的な達成方法を定めるものといたします。
- ③ 取締役は、取締役会、経営会議等において、前号に関する進捗状況を報告するものといたします。

5. 当会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

現在、当社に子会社等は存在しないが、将来において子会社等を設立または取得する場合には、企業集団全体で内部統制の徹底を図るための体制を整備することといたします。

6. 監査役がその職務を補助すべき社員を置くことを求めた場合における当該社員に関する事項並びにその社員の取締役からの独立性に関する事項

- ① 当社は、監査役より職務を補助すべき社員を置くことを求められた場合は、監査役と協議のうえ職務を補助すべき使用人を設置することといたします。
- ② 前号に基づき、監査役より監査業務に必要な命令を受けた者はその命令に関して、取締役等

の指揮命令を受けないものといたします。

7. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制
 - ① 取締役または使用人は、監査役の求めに応じて、業務執行の状況、内部監査の実施状況等を報告いたします。
 - ② 取締役は、当社に重大な影響を及ぼすおそれのある事項を発見した場合は直ちに監査役に報告いたします。

8. その他監査役が監査が実効的に行なわれることを確保するための体制
 - ① 監査役と代表取締役社長、内部監査責任者、会計監査人との間の定期的な意見交換会を設定するなど、相互の連携を図ることといたします。
 - ② 監査役が経営会議などの重要会議に出席し、または稟議書等の重要文書の閲覧を通じて意思決定の過程及び業務の執行状況を把握できる体制を確保することといたします。

2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況

当社は反社会的勢力に対し、毅然とした態度で対応し、いかなる名目の利益供与もおこなわず、反社会的勢力との係わりを一切もたないようにすることを徹底しております。

また、警察や弁護士等、外部機関と連携し情報の収集・管理を行い、社長自身が「反社会的勢力に対する方針」の遵守を率先しておこない、会社の役職員全員が「反社会的勢力に対する方針」を理解し、反社会的勢力に毅然とした対応が出来るよう、随時社内教育を実施しております。

V. その他

1. 買収防衛策導入の有無

買収防衛策導入	なし
---------	----

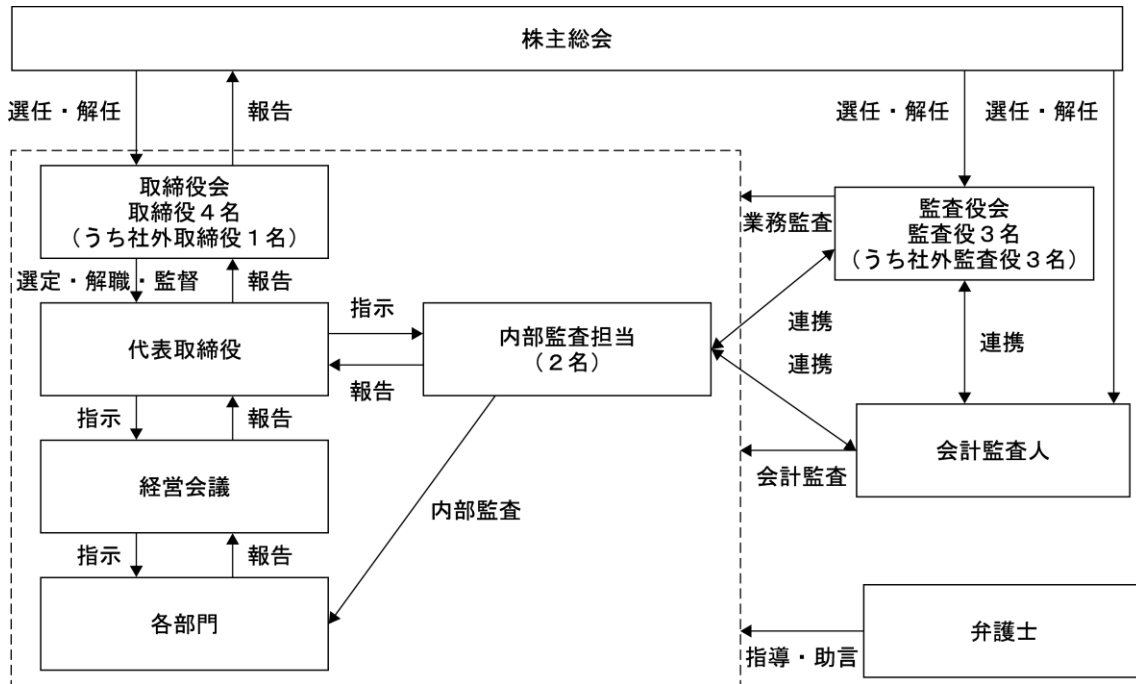
該当項目に関する補足説明

—

2. その他コーポレート・ガバナンス体制等に関する事項

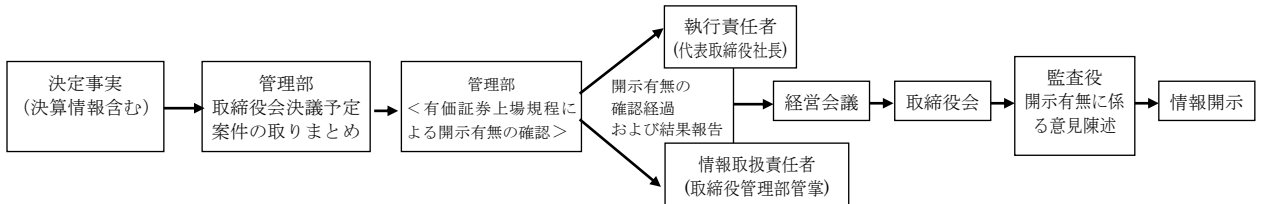
—

【模式図(参考資料)】

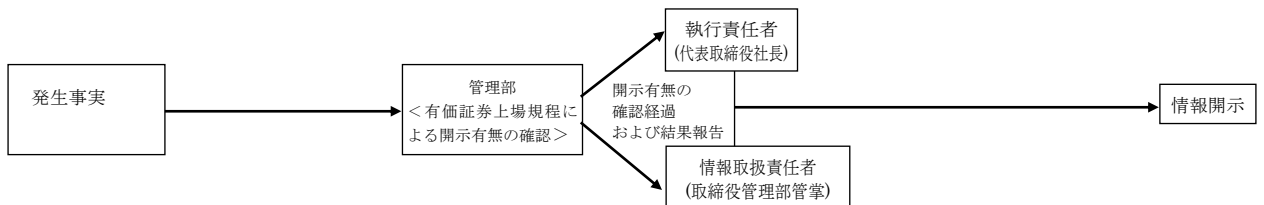


【適時開示体制の概要】

< 決定事実・決算に関する情報等 >



< 発生事実に関する情報等 >



以上